

第13回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会

平成30年1月29日(月)

16:00～18:00

厚生労働省専用22会議室

議事次第

1 開会

2 議題

(1) 報告事項

○各部会における審議状況

○平成29年度麻疹風疹の定期接種の実施状況
(第2期)について(中間報告)

(2) その他

3 閉会

配付資料

資料 1 各部会の審議状況について

予防接種基本方針部会資料
(平成 29 年 12 月 8 日)

副反応検討部会審議状況
(平成 29 年 11 月 29 日、平成 29 年 12 月 22 日)

ワクチン評価に関する小委員会審議状況
(平成 29 年 11 月 16 日)

資料 2 平成 29 年度麻疹風しんの定期接種（第 2 期）の実施状況 (中間報告)

参考資料 1 定期接種化を検討しているワクチンの審議内容

参考資料 2 長期療養特例の実施状況について

参考資料 3 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの供給等について

参考資料 4 季節性インフルエンザワクチンの定期の予防接種に
おける接種時期等について

参考資料 5 2017/18 シーズンにおける累積供給予定量実績/
医療機関納入量実績

参考資料 6 平成 30 年度予防接種対策予算案の概要

厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会委員

【委員】

池田 俊也	国際医療福祉大学 公衆衛生学 教授
伊藤 澄信	独立行政法人国立病院機構本部総合研究センター長
大石 和徳	国立感染症研究所感染症疫学センター長
釜萯 敏	公益社団法人日本医師会感染症危機管理対策担当常任理事
亀井 利克	全国市長会評議員（三重県名張市長）
川西 徹	国立医薬品食品衛生研究所 所長
◎倉根 一郎	国立感染症研究所 所長
坂元 昇	川崎市健康福祉局医務監
館林 牧子	読売新聞医療部
○中野 貴司	川崎医科大学附属川崎病院小児科部長
中山 ひとみ	霞ヶ関総合法律事務所 弁護士
沼尾 波子	東洋大学国際学部国際地域学科教授
福島 若葉	大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学教授
三田村 敬子	公益財団法人ライフ・エクステンション研究所附属永寿総合病院小児科主任部長
桃井 眞里子	自治医科大学名誉教授、 社会福祉法人桐生療育双葉会両毛整肢療護園
森 康子	神戸大学大学院医学研究科臨床ウイルス学分野教授
山中 朋子	青森県中南地域県民局地域健康福祉部（弘前保健所）
山本 賢一	全国町村会副会長（岩手県軽米町長）

◎：分科会長 ○：分科会長代理

【参考人】

畑 秀二 S S P E 青空の会

（50音順・敬称略）

各部会の審議状況について (第12回予防接種・ワクチン分科会以降)

1. 予防接種基本方針部会

- ・ 第20回 平成29年12月8日開催

2. ワクチン評価に関する小委員会

- ・ 第7回 平成29年11月16日開催

3. 副反応検討部会

- ・ 第31回 平成29年11月29日開催
- ・ 第32回 平成29年12月22日開催

1. 予防接種基本方針部会開催状況

【第20回 平成29年12月8日開催】

(1) 「予防接種に関する基本的な計画」におけるPDCAサイクルにかかるとのヒアリング

- 自治体における予防接種に関する取り組み状況等について、5市区から報告された。
 - ・ 秋田市保健所健康管理課 武藤智真貴参考人
 - ・ つくば市健康増進課 小野村順子参考人
 - ・ 足立区足立保健所保健予防課 福田直人参考人
 - ・ 名古屋市健康福祉局健康部保健医療課 西口淳参考人
 - ・ 神戸市保健福祉局保健所予防衛生課 谷杏奈参考人

(2) 風しんに関する特定感染症予防指針の改正について

- 風しんに関する特定感染症予防指針の改正案について了承された。また、平成30年度中を目途に、現状の風しん対策を総覧し、再度指針の改正を行うことについて了承された。

<指針改正案の主なポイント>

三 風しん及び先天性風しん症候群の届出

- ・ 風しんを診断した医師の届出について、「診断後直ちに」に変更
 - (※) 現行は「診断後7日以内」
 - (※) 先天性風しん症候群の届出については現行通り「診断後7日以内」

五 風しん及び先天性風しん症候群の発生時の迅速な対応

- ・ 感染経路の把握等の調査を「風しんの患者が一例でも発生した場合」に変更
 - (※) 現行は「地域で風しんの流行がない状態において、風しん患者が同一施設で集団発生した場合等」

六 ウイルス遺伝子検査等の実施

- ・ 都道府県は、医師から検体が提出された場合には、地方衛生研究所において、「原則として全例にウイルス検査を実施」に変更
 - (※) 現行は「可能な限り」

(3) 定期接種化を検討しているワクチンの審議内容について

- ワクチン評価に関する小委員会において審議されている以下のワクチンについて、それぞれ審議内容が報告された。(参考資料1参照)

(4) 長期療養特例の実施状況について

- 平成28年4月から平成29年3月末までに厚生労働省へ報告があった長期療養特例の実施状況について報告された。(参考資料2参照)

2. ワクチン評価に関する小委員会開催状況

【第7回 平成29年11月16日開催】

(1) 帯状疱疹ワクチンについて

- 平成29年度厚生労働科学特別研究事業において、「診療情報データベースを用いた帯状疱疹の疫学等に関わる研究」を池田委員に開始していただいた。帯状疱疹の疾病負荷および医療経済的評価について検討いただいていることについて、池田委員より報告された。
- 研究の結果も踏まえ、論点とデータを整理し、再度議論可能となった段階で、改めてワクチン評価に関する小委員会で、定期接種で使用するものの是非について検討を行っていくこととなった。

(2) 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチンについて

- 百日咳ワクチンの必要性について、就学前、DT2期が行われている時期、それぞれの時期への導入について、議論された。
- 就学前については、新規ワクチンの導入の必要性について、DT2期が行われている時期については、既存のDTからDPTへ置き換えることによるリスク・ベネフィットについて、議論された。
- 百日咳について、本年1月より検査診断、全数把握による届出が開始されたことから、その結果も踏まえつつ、論点とデータを整理し、引き続きワクチン評価に関する小委員会で、定期接種で使用するものの是非について検討を行っていくこととなった。

(3) 肺炎球菌ワクチンについて

- 第19回基本方針部会において、23価肺炎球菌ワクチンに関するファクトシートを国立感染症研究所で作成いただくことが了承され、本ファクトシートをもとにワクチン評価に関する小委員会において検討を行うことが報告された。

(4) ヴァクセムヒブについて

- 2017年5月に武田薬品工業よりヴァクセムヒブが発売中止となったことを受け、定期接種化の議論を終了することが報告された。

3. 副反応検討部会開催状況

【第31回 平成29年11月29日開催】

(1) 麻しん、風しん、おたふくかぜ、水痘、A型肝炎、23価肺炎球菌、HPVワクチンの安全性について

- 麻しん、風しん、おたふくかぜ、水痘、A型肝炎、23価肺炎球菌、HPVワクチンの各ワクチンについて、副反応疑いとして報告された全ての症例の概要並びに後遺症症例、アナフィラキシー症例及び死亡症例のより詳細な経過等の資料を基に審議され、HPVワクチンの安全性については、新たなシグナルの検出はなく、従前通りの評価とされ、その他のワクチンについては、これまでの報告において安全性に重大な懸念は認められないと評価された。

(2) HPVワクチンについて

- 国内外におけるリスク（安全性）とベネフィット（有効性）に関する情報を整理。HPVワクチン接種後に生じた症状について議論が行われ、①平成26年1月の合同会議における検討以降、HPVワクチン接種後に生じた症状とHPVワクチンとの因果関係を示唆する新しい質の高いエビデンスは報告されていない、②臨床現場では医師の専門性の違い、主たる症状の違い等により、同一と思われる状態でも、様々な傷病名で診療が行われている実態があるものの、それらは、当部会で整理している「機能性身体症状」と同一のものであると考えられる、と整理された。

また、ワクチンの安全性及び有効性に関する最新の知見を情報提供していくとともに、「機能性身体症状」については、医療関係者のなかでも「機能性身体症状」という病態に十分な理解があるといえる状態ではなく、医療従事者を始め、医学的知識のない方でもわかるように、機能性身体症状についての理解を深めていくことが必要である、とされた。

(3) HPVワクチンに係る診療体制における協力医療機関等を受診している方を対象とした調査研究（症例フォローアップ調査）について

- 厚生労働科学研究事業研究班の研究代表者である大阪大学大学院医学系研究科祖父江友孝教授から症例フォローアップ調査の進捗状況について報告された。

【第 32 回 平成 29 年 12 月 22 日開催】

(1) HPVワクチンについて

- HPVワクチンに係るこれまでの審議会での議論の整理が行われるとともに、国民への情報提供のためのリーフレットの見直し案について議論が行われた。情報提供の内容や方法については、以下の様な審議がなされた。
 - ・ HPVワクチンの安全性及び有効性に関する国民への情報提供については、現在、①保護者向けリーフレット、②被接種者向けリーフレット、③医療従事者向けリーフレットが厚生労働省のホームページに公表されており、各市町村からも同様に情報提供がなされている。本年 11 月の審議会において、「ワクチンの安全性及び有効性に関する最新の知見を情報提供していくとともに、『機能性身体症状』については、医療関係者のなかでも『機能性身体症状』という病態に十分な理解があるといえる状態ではなく、医療従事者を始め、医学的知識のない方でもわかるように、機能性身体症状についての理解を深めていくことが必要である」とされたことから、国民への情報提供について、安全性・有効性に関する内容を充実した上で、更なる情報提供をすすめることとする。
 - ・ 国民への情報提供については、科学コミュニケーション若しくは、ベネフィットリスクコミュニケーションが成立したと判断できる状態になることが重要である。
 - ・ 情報提供しただけで伝わったということではなく、科学コミュニケーションが成立したか否かということが大事であり、理解されたかどうか評価することも必要である。

平成 29 年度麻しん風しんの
定期接種の実施状況（第 2 期）
について（中間報告）

総合表 都道府県別麻疹ワクチン接種率 2017年度中間評価 接種対象群別結果一覧

2017年4月1日～2017年9月30日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

No.	都道府県	第2期
合計		59.5
1	北海道	51.1
2	青森県	57.2
3	岩手県	60.6
4	宮城県	53.5
5	秋田県	60.2
6	山形県	62.7
7	福島県	62.4
8	茨城県	62.1
9	栃木県	63.9
10	群馬県	67.3
11	埼玉県	60.5
12	千葉県	62.1
13	東京都	58.0
14	神奈川県	57.5
15	新潟県	59.2
16	富山県	64.1
17	石川県	69.4
18	福井県	64.2
19	山梨県	58.7
20	長野県	63.4
21	岐阜県	65.8
22	静岡県	59.5
23	愛知県	65.7
24	三重県	64.4
25	滋賀県	66.5
26	京都府	57.3
27	大阪府	57.6
28	兵庫県	55.4
29	奈良県	62.1
30	和歌山県	66.6
31	鳥取県	58.0
32	島根県	63.5
33	岡山県	59.4
34	広島県	58.7
35	山口県	60.0
36	徳島県	62.3
37	香川県	65.4
38	愛媛県	60.4
39	高知県	53.3
40	福岡県	53.9
41	佐賀県	61.3
42	長崎県	56.5
43	熊本県	59.4
44	大分県	59.7
45	宮崎県	57.7
46	鹿児島県	60.3
47	沖縄県	51.8

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

総合表 都道府県別風しんワクチン接種率 2017年度中間評価 接種対象群別結果一覧

2017年4月1日～2017年9月30日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

No.	都道府県	第2期
合計		59.5
1	北海道	51.1
2	青森県	57.2
3	岩手県	60.6
4	宮城県	53.5
5	秋田県	60.2
6	山形県	62.7
7	福島県	62.4
8	茨城県	62.1
9	栃木県	63.9
10	群馬県	67.3
11	埼玉県	60.5
12	千葉県	62.1
13	東京都	58.0
14	神奈川県	57.5
15	新潟県	59.2
16	富山県	64.1
17	石川県	69.4
18	福井県	64.2
19	山梨県	58.7
20	長野県	63.4
21	岐阜県	65.8
22	静岡県	59.5
23	愛知県	65.7
24	三重県	64.4
25	滋賀県	66.5
26	京都府	57.3
27	大阪府	57.6
28	兵庫県	55.4
29	奈良県	62.1
30	和歌山県	66.6
31	鳥取県	58.0
32	島根県	63.5
33	岡山県	59.4
34	広島県	58.7
35	山口県	60.0
36	徳島県	62.3
37	香川県	65.4
38	愛媛県	60.4
39	高知県	53.3
40	福岡県	53.9
41	佐賀県	61.3
42	長崎県	56.5
43	熊本県	59.4
44	大分県	59.7
45	宮崎県	57.6
46	鹿児島県	60.3
47	沖縄県	51.8

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター
 ※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表1-1 2017年度 第2期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2017年9月30日現在、中間評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2017年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2017年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2017年度 第2期
2017年4月1日～2017年9月30日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

順位	都道府県	第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤=(②+ ③)/①×100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥=(②+ ④)/①×100
	合計	1,064,736	633,491	30	24	59.5	59.5
1	石川県	9,879	6,859	1	0	69.4	69.4
2	群馬県	15,988	10,752	0	4	67.3	67.3
3	和歌山県	7,662	5,103	0	0	66.6	66.6
4	滋賀県	13,734	9,136	2	1	66.5	66.5
5	岐阜県	17,862	11,749	1	2	65.8	65.8
6	愛知県	68,842	45,222	2	0	65.7	65.7
7	香川県	8,357	5,466	1	1	65.4	65.4
8	三重県	15,541	10,016	0	0	64.4	64.4
9	福井県	6,786	4,359	0	0	64.2	64.2
10	富山県	8,080	5,177	0	0	64.1	64.1
11	栃木県	16,225	10,366	0	0	63.9	63.9
12	鳥根県	5,763	3,661	0	0	63.5	63.5
13	長野県	17,435	11,058	1	0	63.4	63.4
14	山形県	8,487	5,325	0	0	62.7	62.7
15	福島県	14,411	8,995	0	0	62.4	62.4
16	徳島県	5,868	3,655	0	0	62.3	62.3
17	茨城県	23,789	14,778	0	0	62.1	62.1
	千葉県	51,647	32,058	0	0	62.1	62.1
	奈良県	10,945	6,790	2	2	62.1	62.1
20	佐賀県	7,789	4,776	0	0	61.3	61.3
21	岩手県	9,483	5,742	0	0	60.6	60.6
22	埼玉県	60,674	36,687	1	0	60.5	60.5
23	愛媛県	11,523	6,962	0	0	60.4	60.4
24	鹿児島県	15,343	9,252	0	0	60.3	60.3
25	秋田県	6,784	4,082	0	0	60.2	60.2
26	山口県	11,214	6,729	0	0	60.0	60.0
27	大分県	9,759	5,823	1	0	59.7	59.7
28	静岡県	31,484	18,734	0	0	59.5	59.5
29	岡山県	16,767	9,952	1	1	59.4	59.4
	熊本県	16,324	9,689	1	1	59.4	59.4
31	新潟県	17,826	10,554	0	0	59.2	59.2
32	山梨県	6,699	3,932	0	0	58.7	58.7
	広島県	25,623	15,031	0	0	58.7	58.7
34	東京都	106,005	61,472	6	6	58.0	58.0
	鳥取県	5,114	2,966	0	0	58.0	58.0
36	宮崎県	10,171	5,863	1	0	57.7	57.6
37	大阪府	72,801	41,942	1	0	57.6	57.6
38	神奈川県	77,475	44,516	5	4	57.5	57.5
39	京都府	20,848	11,941	0	0	57.3	57.3
40	青森県	9,404	5,380	0	0	57.2	57.2
41	長崎県	11,816	6,674	0	0	56.5	56.5
42	兵庫県	48,120	26,657	1	1	55.4	55.4
43	福岡県	46,549	25,103	1	0	53.9	53.9
44	宮城県	18,601	9,960	0	0	53.5	53.5
45	高知県	5,302	2,828	0	0	53.3	53.3
46	沖縄県	18,431	9,544	0	0	51.8	51.8
47	北海道	39,506	20,175	1	1	51.1	51.1

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表2 2017年度中間評価 都道府県別麻疹ワクチン接種率 伸び率の比較

伸び率が高い5都道府県

2016年9月末と2017年9月末の比較

No.	都道府県	参考：2017年9月末		参考：2016年9月末	
		第2期	伸び率	第2期	伸び率
	合計	0.5		59.5	
1	北海道	-1.4		51.1	52.5
2	青森県	-0.1		57.2	57.3
3	岩手県	-4.6		60.6	65.2
4	宮城県	-0.6		53.5	54.1
5	秋田県	-1.0		60.2	61.2
6	山形県	3.5		62.7	59.2
7	福島県	1.4		62.4	61.0
8	茨城県	0.9		62.1	61.2
9	栃木県	2.9		63.9	61.0
10	群馬県	0.5		67.3	66.8
11	埼玉県	1.6		60.5	58.9
12	千葉県	-1.1		62.1	63.2
13	東京都	0.8		58.0	57.2
14	神奈川県	-0.2		57.5	57.7
15	新潟県	-0.7		59.2	59.9
16	富山県	-0.4		64.1	64.5
17	石川県	0.8		69.4	68.6
18	福井県	-0.4		64.2	64.6
19	山梨県	2.9		58.7	55.8
20	長野県	-0.1		63.4	63.5
21	岐阜県	2.5		65.8	63.3
22	静岡県	1.1		59.5	58.4
23	愛知県	-0.1		65.7	65.8
24	三重県	-1.9		64.4	66.3
25	滋賀県	-0.3		66.5	66.8
26	京都府	2.3		57.3	55.0
27	大阪府	2.8		57.6	54.8
28	兵庫県	-0.1		55.4	55.5
29	奈良県	3.4		62.1	58.7
30	和歌山県	2.8		66.6	63.8
31	鳥取県	-1.9		58.0	59.9
32	島根県	-0.6		63.5	64.1
33	岡山県	-0.2		59.4	59.6
34	広島県	0.3		58.7	58.4
35	山口県	-0.4		60.0	60.4
36	徳島県	2.3		62.3	60.0
37	香川県	0.2		65.4	65.2
38	愛媛県	1.2		60.4	59.2
39	高知県	1.4		53.3	51.9
40	福岡県	0.4		53.9	53.5
41	佐賀県	-2.1		61.3	63.4
42	長崎県	-0.8		56.5	57.3
43	熊本県	6.2		59.4	53.2
44	大分県	2.3		59.7	57.4
45	宮崎県	3.6		57.7	54.1
46	鹿児島県	0.7		60.3	59.6
47	沖縄県	-4.9		51.8	56.7

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表3-1 2017年度 第2期 政令指定都市別麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果

2017年9月30日現在、中間評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2017年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2017年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2017年度 第2期
2017年4月1日～2017年9月30日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

順位	政令指定都市	第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤ = (②+ ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥ = (②+ ④) / ① × 100
	合計	229,323	130,215	6	3	56.8	56.8
1	さいたま市	11,337	7,327	0	0	64.6	64.6
2	川崎市	13,077	8,259	0	0	63.2	63.2
3	千葉市	7,960	4,973	0	0	62.5	62.5
4	名古屋市	18,600	11,571	2	0	62.2	62.2
5	相模原市	5,811	3,588	0	0	61.7	61.7
6	広島市	11,324	6,955	0	0	61.4	61.4
7	大阪市	20,475	12,375	1	0	60.4	60.4
8	新潟市	6,564	3,961	0	0	60.3	60.3
9	熊本市	6,951	4,094	0	0	58.9	58.9
10	静岡市	5,460	3,182	0	0	58.3	58.3
11	岡山市	6,485	3,696	1	1	57.0	57.0
12	堺市	7,316	4,161	0	0	56.9	56.9
13	浜松市	7,219	4,079	0	0	56.5	56.5
14	横浜市	31,533	17,454	1	2	55.4	55.4
15	北九州市	8,238	4,526	0	0	54.9	54.9
16	神戸市	12,954	7,087	0	0	54.7	54.7
17	京都市	10,898	5,784	0	0	53.1	53.1
18	福岡市	13,621	6,941	1	0	51.0	51.0
19	仙台市	8,815	4,182	0	0	47.4	47.4
20	札幌市	14,685	6,020	0	0	41.0	41.0

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表4-1 2017年度 第2期 中核市別麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果

2017年9月30日現在、中間評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2017年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2017年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2017年度 第2期

2017年4月1日～2017年9月30日

順位	中核市	第2期					
		95%以上	90～95%未満	80～90%未満	70～80%未満	70%未満	
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数(人)： ②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤=(②+ ③)/①×100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥=(②+ ④)/①×100
	合計	164,292	97,700	3	1	59.5	59.5
1	岡崎市	3,881	2,789	0	0	71.9	71.9
2	大津市	3,162	2,230	2	1	70.6	70.6
3	高崎市	3,146	2,218	0	0	70.5	70.5
4	豊橋市	3,579	2,427	0	0	67.8	67.8
5	富山市	3,346	2,248	0	0	67.2	67.2
6	豊田市	3,963	2,655	0	0	67.0	67.0
7	いわき市	2,476	1,645	0	0	66.4	66.4
8	和歌山市	3,047	2,019	0	0	66.3	66.3
9	前橋市	2,703	1,785	0	0	66.0	66.0
	長野市	3,222	2,125	0	0	66.0	66.0
11	川越市	2,980	1,965	0	0	65.9	65.9
12	高松市	3,870	2,525	0	0	65.2	65.2
13	金沢市	4,109	2,673	0	0	65.1	65.1
14	倉敷市	4,682	3,020	0	0	64.5	64.5
15	枚方市	3,488	2,242	0	0	64.3	64.3
16	西宮市	4,538	2,905	0	0	64.0	64.0
17	船橋市	5,733	3,659	0	0	63.8	63.8
18	越谷市	2,907	1,835	0	0	63.1	63.1
19	郡山市	2,639	1,640	0	0	62.1	62.1
20	松山市	4,628	2,846	0	0	61.5	61.5
21	岐阜市	3,358	2,053	0	0	61.1	61.1
22	八王子市	4,423	2,692	0	0	60.9	60.9
23	下関市	1,983	1,204	0	0	60.7	60.7
24	東大阪市	3,746	2,238	0	0	59.7	59.7
	宮崎市	3,900	2,329	1	0	59.7	59.7
26	呉市	1,726	1,029	0	0	59.6	59.6
27	函館市	1,783	1,058	0	0	59.3	59.3
28	宇都宮市	4,734	2,800	0	0	59.1	59.1
29	豊中市	3,817	2,234	0	0	58.5	58.5
30	横須賀市	3,040	1,775	0	0	58.4	58.4
31	柏市	3,786	2,164	0	0	57.2	57.2
32	大分市	4,454	2,534	0	0	56.9	56.9
33	福山市	4,461	2,529	0	0	56.7	56.7
34	八戸市	1,897	1,073	0	0	56.6	56.6
35	秋田市	2,345	1,323	0	0	56.4	56.4
36	久留米市	2,900	1,634	0	0	56.3	56.3
37	奈良市	2,727	1,530	0	0	56.1	56.1
38	長崎市	3,322	1,860	0	0	56.0	56.0
39	高槻市	2,933	1,592	0	0	54.3	54.3
40	旭川市	2,473	1,324	0	0	53.5	53.5
41	佐世保市	2,358	1,255	0	0	53.2	53.2
42	鹿児島市	5,755	3,026	0	0	52.6	52.6
43	青森市	2,087	1,058	0	0	50.7	50.7
44	高知市	2,746	1,387	0	0	50.5	50.5
45	姫路市	4,865	2,165	0	0	44.5	44.5
46	盛岡市	2,404	1,014	0	0	42.2	42.2
47	尼崎市	3,649	1,518	0	0	41.6	41.6
48	那覇市	4,521	1,851	0	0	40.9	40.9

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表5-1 2017年度 第2期 特例市別麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果

2017年9月30日現在、中間評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2017年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2017年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2017年度 第2期

2017年4月1日～2017年9月30日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

順位	特例市	第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤= (②+ ③)/①×100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥= (②+ ④)/①×100
	合計	81,933	48,313	0	0	59.0	59.0
1	一宮市	3,501	2,653	0	0	75.8	75.8
2	つくば市	2,423	1,778	0	0	73.4	73.4
3	四日市市	2,684	1,863	0	0	69.4	69.4
4	伊勢崎市	1,869	1,286	0	0	68.8	68.8
5	松本市	2,166	1,421	0	0	65.6	65.6
6	大和市	2,047	1,320	0	0	64.5	64.5
7	茨木市	2,797	1,765	0	0	63.1	63.1
8	松江市	1,831	1,148	0	0	62.7	62.7
9	鳥取市	1,766	1,106	0	0	62.6	62.6
10	太田市	2,088	1,302	0	0	62.4	62.4
	熊谷市	1,488	929	0	0	62.4	62.4
12	草加市	1,985	1,194	0	0	60.2	60.2
13	厚木市	1,986	1,183	0	0	59.6	59.6
14	富士市	2,200	1,310	0	0	59.5	59.5
15	春日井市	2,898	1,722	0	0	59.4	59.4
16	吹田市	3,601	2,134	0	0	59.3	59.3
17	茅ヶ崎市	2,158	1,256	0	0	58.2	58.2
18	明石市	2,778	1,611	0	0	58.0	58.0
19	山形市	2,144	1,242	0	0	57.9	57.9
20	福井市	2,356	1,354	0	0	57.5	57.5
21	甲府市	1,518	872	0	0	57.4	57.4
22	八尾市	2,170	1,242	0	0	57.2	57.2
23	加古川市	2,490	1,414	0	0	56.8	56.8
24	上越市	1,565	886	0	0	56.6	56.6
25	所沢市	2,848	1,603	0	0	56.3	56.3
26	沼津市	1,345	749	0	0	55.7	55.7
27	川口市	5,113	2,790	0	0	54.6	54.6
	春日部市	1,690	922	0	0	54.6	54.6
29	宝塚市	2,051	1,106	0	0	53.9	53.9
30	佐賀市	2,208	1,188	0	0	53.8	53.8
31	岸和田市	1,730	925	0	0	53.5	53.5
32	寝屋川市	1,891	998	0	0	52.8	52.8
33	小田原市	1,475	768	0	0	52.1	52.1
34	水戸市	2,222	1,155	0	0	52.0	52.0
35	長岡市	2,238	1,111	0	0	49.6	49.6
36	平塚市	2,613	1,007	0	0	38.5	38.5

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表6-1 2017年度 第2期 特別区別麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果

2017年9月30日現在、中間評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2017年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2017年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2017年度 第2期
2017年4月1日～2017年9月30日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

順位	特別区	第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤= (②+ ③)/①×100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥= (②+ ④)/①×100
	合計	71,098	40,072	3	2	56.4	56.4
1	千代田区	477	351	0	0	73.6	73.6
2	中央区	1,327	962	0	0	72.5	72.5
3	台東区	1,219	841	0	0	69.0	69.0
4	墨田区	1,805	1,226	0	0	67.9	67.9
5	新宿区	1,968	1,247	0	0	63.4	63.4
6	江東区	4,583	2,885	0	0	63.0	63.0
	練馬区	5,620	3,538	0	0	63.0	63.0
8	目黒区	2,000	1,237	0	0	61.9	61.9
9	北区	2,342	1,382	0	0	59.0	59.0
10	文京区	1,758	1,033	0	0	58.8	58.8
11	品川区	2,973	1,731	0	0	58.2	58.2
12	杉並区	3,891	2,256	0	0	58.0	58.0
13	江戸川区	6,036	3,372	0	0	55.9	55.9
14	足立区	5,518	3,033	0	0	55.0	55.0
15	板橋区	4,146	2,262	1	1	54.6	54.6
	葛飾区	3,599	1,964	0	0	54.6	54.6
17	渋谷区	1,562	845	0	0	54.1	54.1
18	世田谷区	7,231	3,898	1	0	53.9	53.9
19	港区	2,299	1,168	0	0	50.8	50.8
20	中野区	1,909	951	0	0	49.8	49.8
21	豊島区	1,701	826	0	0	48.6	48.6
22	大田区	5,394	2,338	1	1	43.4	43.4
23	荒川区	1,740	726	0	0	41.7	41.7

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

総合表 都道府県別風しんワクチン接種率 2016年度中間評価 接種対象群別結果一覧

2016年4月1日～2016年9月30日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

No.	都道府県	第2期
合計		59.0
1	北海道	52.5
2	青森県	57.3
3	岩手県	65.2
4	宮城県	54.1
5	秋田県	61.2
6	山形県	59.2
7	福島県	61.0
8	茨城県	61.2
9	栃木県	61.0
10	群馬県	66.8
11	埼玉県	58.9
12	千葉県	63.2
13	東京都	57.2
14	神奈川県	57.7
15	新潟県	59.9
16	富山県	64.5
17	石川県	68.6
18	福井県	64.6
19	山梨県	55.8
20	長野県	63.5
21	岐阜県	63.3
22	静岡県	58.4
23	愛知県	65.8
24	三重県	66.3
25	滋賀県	66.8
26	京都府	55.0
27	大阪府	54.8
28	兵庫県	55.5
29	奈良県	58.7
30	和歌山県	63.8
31	鳥取県	59.9
32	島根県	64.1
33	岡山県	59.6
34	広島県	58.4
35	山口県	60.4
36	徳島県	60.0
37	香川県	65.2
38	愛媛県	59.2
39	高知県	51.9
40	福岡県	53.5
41	佐賀県	63.4
42	長崎県	57.3
43	熊本県	53.2
44	大分県	57.4
45	宮崎県	54.1
46	鹿児島県	59.6
47	沖縄県	56.7

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター
 ※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表1-1 2016年度 第2期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2016年9月30日現在、中間評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2016年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2016年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2016年度 第2期
2016年4月1日～2016年9月30日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

順位	都道府県	第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤ = (②+ ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥ = (②+ ④) / ① × 100
	合計	1,076,941	635,046	62	62	59.0	59.0
1	石川県	9,575	6,565	0	0	68.6	68.6
2	群馬県	16,385	10,951	0	0	66.8	66.8
	滋賀県	13,843	9,252	0	0	66.8	66.8
4	三重県	15,779	10,459	0	0	66.3	66.3
5	愛知県	70,064	46,073	1	0	65.8	65.8
6	岩手県	9,306	6,068	0	0	65.2	65.2
	香川県	8,428	5,496	0	0	65.2	65.2
8	福井県	6,840	4,421	0	0	64.6	64.6
9	富山県	8,231	5,310	0	0	64.5	64.5
10	島根県	5,812	3,726	0	0	64.1	64.1
11	和歌山県	7,648	4,883	0	0	63.8	63.8
12	長野県	17,638	11,207	1	0	63.5	63.5
13	佐賀県	7,833	4,969	0	0	63.4	63.4
14	岐阜県	17,896	11,334	0	0	63.3	63.3
15	千葉県	51,995	32,858	1	1	63.2	63.2
16	秋田県	6,854	4,197	0	0	61.2	61.2
	茨城県	24,115	14,752	0	0	61.2	61.2
18	福島県	14,917	9,100	0	0	61.0	61.0
	栃木県	16,676	10,166	0	0	61.0	61.0
20	山口県	11,378	6,876	0	0	60.4	60.4
21	徳島県	5,977	3,586	0	0	60.0	60.0
22	新潟県	18,269	10,952	0	0	59.9	59.9
	鳥取県	4,782	2,865	0	0	59.9	59.9
24	岡山県	16,891	10,039	32	29	59.6	59.6
	鹿児島県	15,329	9,142	0	0	59.6	59.6
26	山形県	8,844	5,233	0	0	59.2	59.2
	愛媛県	11,481	6,801	0	0	59.2	59.2
28	埼玉県	62,216	36,665	1	3	58.9	58.9
29	奈良県	11,111	6,523	0	0	58.7	58.7
30	静岡県	32,320	18,887	0	0	58.4	58.4
	広島県	25,880	15,120	0	1	58.4	58.4
32	神奈川県	77,664	44,780	1	7	57.7	57.7
33	大分県	10,064	5,776	0	0	57.4	57.4
34	青森県	9,639	5,519	0	0	57.3	57.3
	長崎県	11,984	6,868	0	0	57.3	57.3
36	東京都	106,391	60,838	20	19	57.2	57.2
37	沖縄県	17,321	9,814	1	0	56.7	56.7
38	山梨県	6,704	3,741	0	0	55.8	55.8
39	兵庫県	48,569	26,958	1	0	55.5	55.5
40	京都府	21,370	11,755	0	0	55.0	55.0
41	大阪府	73,758	40,443	2	1	54.8	54.8
42	宮城県	19,331	10,459	0	0	54.1	54.1
	宮崎県	10,320	5,582	0	0	54.1	54.1
44	福岡県	47,253	25,285	1	0	53.5	53.5
45	熊本県	16,544	8,803	0	0	53.2	53.2
46	北海道	40,214	21,093	0	1	52.5	52.5
47	高知県	5,502	2,856	0	0	51.9	51.9

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表2 2016年度中間評価 都道府県別麻疹ワクチン接種率 伸び率の比較

伸び率が高い5都道府県

2015年9月末と2016年9月末の比較

No.	都道府県	参考：2016年9月末		参考：2015年9月末	
		第2期	伸び率	第2期	伸び率
	合計	1.3		59.0	
1	北海道	3.9		52.5	48.6
2	青森県	1.3		57.3	56.0
3	岩手県	3.7		65.2	61.5
4	宮城県	1.5		54.1	52.6
5	秋田県	1.6		61.2	59.6
6	山形県	-1.5		59.2	60.7
7	福島県	0.3		61.0	60.7
8	茨城県	1.8		61.2	59.4
9	栃木県	-1.1		61.0	62.1
10	群馬県	0.5		66.8	66.3
11	埼玉県	1.8		58.9	57.1
12	千葉県	2.7		63.2	60.5
13	東京都	2.1		57.2	55.1
14	神奈川県	2.8		57.7	54.9
15	新潟県	-1.7		59.9	61.6
16	富山県	1.8		64.5	62.7
17	石川県	1.5		68.6	67.1
18	福井県	0.1		64.6	64.5
19	山梨県	-0.3		55.8	56.1
20	長野県	-0.6		63.5	64.1
21	岐阜県	-1.2		63.3	64.5
22	静岡県	0.3		58.4	58.1
23	愛知県	0.4		65.8	65.4
24	三重県	0.1		66.3	66.2
25	滋賀県	2.9		66.8	63.9
26	京都府	-1.5		55.0	56.5
27	大阪府	2.2		54.8	52.6
28	兵庫県	3.0		55.5	52.5
29	奈良県	0.4		58.7	58.3
30	和歌山県	0.4		63.8	63.4
31	鳥取県	0.4		59.9	59.5
32	島根県	-2.4		64.1	66.5
33	岡山県	3.3		59.6	56.3
34	広島県	-1.8		58.4	60.2
35	山口県	4.1		60.4	56.3
36	徳島県	1.0		60.0	59.0
37	香川県	1.2		65.2	64.0
38	愛媛県	0.5		59.2	58.7
39	高知県	1.3		51.9	50.6
40	福岡県	0.4		53.5	53.1
41	佐賀県	1.7		63.4	61.7
42	長崎県	0.9		57.3	56.4
43	熊本県	-2.6		53.2	55.8
44	大分県	2.1		57.4	55.3
45	宮崎県	1.2		54.1	52.9
46	鹿児島県	1.6		59.6	58.0
47	沖縄県	1.6		56.7	55.1

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表3-1 2016年度 第2期 政令指定都市別麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果

2016年9月30日現在、中間評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2016年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2016年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2016年度 第2期
2016年4月1日～2016年9月30日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

順位	政令指定都市	第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤ = (②+ ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥ = (②+ ④) / ① × 100
	合計	233,057	130,514	34	38	56.0	56.0
1	千葉市	8,098	5,376	0	0	66.4	66.4
2	川崎市	13,106	8,033	1	0	61.3	61.3
3	相模原市	6,053	3,686	0	0	60.9	60.9
4	名古屋市	19,673	11,920	1	0	60.6	60.6
	広島市	11,556	7,004	0	0	60.6	60.6
6	神戸市	12,979	7,607	0	0	58.6	58.6
7	新潟市	6,580	3,851	0	0	58.5	58.5
8	さいたま市	11,573	6,703	0	1	57.9	57.9
9	横浜市	31,565	18,157	0	7	57.5	57.5
	大阪市	20,431	11,737	1	1	57.5	57.5
11	岡山市	6,538	3,720	31	29	57.4	57.3
12	浜松市	7,304	4,184	0	0	57.3	57.3
13	堺市	7,475	4,210	0	0	56.3	56.3
14	北九州市	8,158	4,531	0	0	55.5	55.5
15	静岡市	5,760	2,968	0	0	51.5	51.5
16	熊本市	6,995	3,595	0	0	51.4	51.4
17	京都市	11,006	5,606	0	0	50.9	50.9
18	福岡市	14,083	7,061	0	0	50.1	50.1
19	仙台市	9,127	4,294	0	0	47.0	47.0
20	札幌市	14,997	6,271	0	0	41.8	41.8

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表4-1 2016年度 第2期 中核市別麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果

2016年9月30日現在、中間評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2016年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2016年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2016年度 第2期
2016年4月1日～2016年9月30日

順位	中核市	第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤= (②+ ③)/①×100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥= (②+ ④)/①×100
	合計	163,577	96,399	3	1	58.9	58.9
1	大津市	3,224	2,334	0	0	72.4	72.4
2	岡崎市	3,958	2,851	0	0	72.0	72.0
3	高崎市	3,212	2,240	0	0	69.7	69.7
4	豊田市	4,130	2,861	0	0	69.3	69.3
5	いわき市	2,496	1,712	0	0	68.6	68.6
6	豊橋市	3,458	2,330	0	0	67.4	67.4
7	富山市	3,420	2,300	0	0	67.3	67.3
8	西宮市	4,620	3,081	1	0	66.7	66.7
9	船橋市	5,806	3,837	0	0	66.1	66.1
10	長野市	3,329	2,185	1	0	65.7	65.6
11	金沢市	3,948	2,586	0	0	65.5	65.5
12	倉敷市	4,744	3,086	0	0	65.1	65.1
13	前橋市	2,795	1,815	0	0	64.9	64.9
14	川越市	3,156	2,043	0	0	64.7	64.7
15	函館市	1,775	1,133	0	0	63.8	63.8
16	和歌山市	2,990	1,884	0	0	63.0	63.0
17	越谷市	3,051	1,911	0	1	62.6	62.7
18	八王子市	4,601	2,861	0	0	62.2	62.2
19	高松市	3,898	2,420	0	0	62.1	62.1
20	松山市	4,562	2,795	0	0	61.3	61.3
21	柏市	3,758	2,226	0	0	59.2	59.2
22	秋田市	2,331	1,363	0	0	58.5	58.5
23	横須賀市	3,178	1,846	0	0	58.1	58.1
24	呉市	1,786	1,029	0	0	57.6	57.6
25	宮崎市	3,890	2,231	0	0	57.4	57.4
26	岐阜市	3,530	2,023	0	0	57.3	57.3
27	長崎市	3,401	1,941	0	0	57.1	57.1
28	郡山市	2,699	1,537	0	0	56.9	56.9
29	旭川市	2,487	1,413	0	0	56.8	56.8
30	久留米市	3,018	1,707	0	0	56.6	56.6
31	福山市	4,493	2,528	0	0	56.3	56.3
32	大分市	4,602	2,582	0	0	56.1	56.1
33	東大阪市	3,794	2,105	1	0	55.5	55.5
34	豊中市	3,798	2,069	0	0	54.5	54.5
35	宇都宮市	4,835	2,621	0	0	54.2	54.2
	那覇市	3,398	1,842	0	0	54.2	54.2
37	高槻市	3,030	1,640	0	0	54.1	54.1
38	佐世保市	2,369	1,238	0	0	52.3	52.3
39	下関市	2,104	1,087	0	0	51.7	51.7
	鹿児島市	5,810	3,006	0	0	51.7	51.7
41	枚方市	3,583	1,820	0	0	50.8	50.8
42	盛岡市	2,056	1,029	0	0	50.0	50.0
43	高知市	2,821	1,399	0	0	49.6	49.6
44	青森市	2,183	1,060	0	0	48.6	48.6
45	奈良市	2,801	1,330	0	0	47.5	47.5
46	姫路市	4,911	2,093	0	0	42.6	42.6
47	尼崎市	3,738	1,369	0	0	36.6	36.6

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表5-1 2016年度 第2期 特例市別麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果

2016年9月30日現在、中間評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2016年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2016年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2016年度 第2期
2016年4月1日～2016年9月30日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

順位	特例市	第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤ = (②+ ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥ = (②+ ④) / ① × 100
	合計	84,084	49,170	0	0	58.5	58.5
1	一宮市	3,542	2,732	0	0	77.1	77.1
2	四日市市	2,792	2,104	0	0	75.4	75.4
3	つくば市	2,370	1,762	0	0	74.3	74.3
4	伊勢崎市	1,977	1,371	0	0	69.3	69.3
5	鳥取市	1,659	1,095	0	0	66.0	66.0
6	大和市	2,053	1,339	0	0	65.2	65.2
7	上越市	1,672	1,089	0	0	65.1	65.1
8	熊谷市	1,594	1,036	0	0	65.0	65.0
9	松本市	2,135	1,354	0	0	63.4	63.4
10	松江市	1,826	1,144	0	0	62.7	62.7
11	太田市	2,151	1,340	0	0	62.3	62.3
12	春日井市	3,021	1,864	0	0	61.7	61.7
13	草加市	2,025	1,242	0	0	61.3	61.3
14	厚木市	1,956	1,183	0	0	60.5	60.5
15	福井市	2,362	1,372	0	0	58.1	58.1
16	所沢市	2,758	1,580	0	0	57.3	57.3
	春日部市	1,823	1,044	0	0	57.3	57.3
18	明石市	2,633	1,505	0	0	57.2	57.2
19	山形市	2,155	1,223	0	0	56.8	56.8
20	八戸市	1,838	1,033	0	0	56.2	56.2
21	茅ヶ崎市	2,195	1,228	0	0	55.9	55.9
22	富士市	2,316	1,292	0	0	55.8	55.8
	吹田市	3,452	1,926	0	0	55.8	55.8
24	川口市	5,232	2,900	0	0	55.4	55.4
25	佐賀市	2,232	1,228	0	0	55.0	55.0
26	八尾市	2,228	1,214	0	0	54.5	54.5
27	甲府市	1,538	834	0	0	54.2	54.2
28	水戸市	2,221	1,162	0	0	52.3	52.3
29	宝塚市	2,143	1,108	0	0	51.7	51.7
30	加古川市	2,444	1,261	0	0	51.6	51.6
31	寝屋川市	1,899	970	0	0	51.1	51.1
32	茨木市	2,785	1,394	0	0	50.1	50.1
33	沼津市	1,463	728	0	0	49.8	49.8
34	岸和田市	1,744	867	0	0	49.7	49.7
35	長岡市	2,313	1,147	0	0	49.6	49.6
36	小田原市	1,456	684	0	0	47.0	47.0
37	平塚市	2,081	815	0	0	39.2	39.2

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表6-1 2016年度 第2期 特別区別麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果

2016年9月30日現在、中間評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2016年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2016年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2016年度 第2期
2016年4月1日～2016年9月30日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

順位	特別区	第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤= (②+ ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥= (②+ ④) / ① × 100
	合計	70,861	39,286	3	2	55.4	55.4
1	千代田区	475	351	0	0	73.9	73.9
2	中央区	1,271	913	0	0	71.8	71.8
3	練馬区	5,978	4,206	0	0	70.4	70.4
4	目黒区	2,058	1,377	1	1	67.0	67.0
5	台東区	1,236	824	0	0	66.7	66.7
6	新宿区	1,972	1,181	0	0	59.9	59.9
7	墨田区	1,827	1,093	0	0	59.8	59.8
8	世田谷区	7,172	4,116	1	0	57.4	57.4
9	文京区	1,714	979	1	0	57.2	57.1
10	杉並区	3,802	2,170	0	0	57.1	57.1
11	江東区	4,565	2,601	0	0	57.0	57.0
12	中野区	1,851	1,051	0	0	56.8	56.8
13	品川区	2,886	1,624	0	1	56.3	56.3
14	北区	2,356	1,314	0	0	55.8	55.8
15	板橋区	4,143	2,275	0	0	54.9	54.9
16	足立区	5,449	2,966	0	0	54.4	54.4
17	豊島区	1,647	891	0	0	54.1	54.1
18	葛飾区	3,610	1,883	0	0	52.2	52.2
19	港区	2,258	1,127	0	0	49.9	49.9
20	渋谷区	1,474	726	0	0	49.3	49.3
21	荒川区	1,672	786	0	0	47.0	47.0
22	江戸川区	6,091	2,750	0	0	45.1	45.1
23	大田区	5,354	2,082	0	0	38.9	38.9

厚生労働省健康局健康課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

ワクチン名	委員からの主な意見・審議内容等
おたふくかぜ ワクチン	仮に広く接種をするに当たっては、より高い安全性が期待出来るワクチンの承認が前提であり、新たなMMRワクチンの開発が望まれる。 (平成25年7月 第3回予防接種基本方針部会)
不活化ポリオ ワクチン	不活化ポリオワクチンの5回目接種の必要性が議論され、改めて、抗体保有率の経年変化について調査を継続し、その結果に基づき5回目接種の必要性を検討する、とされた。 (平成25年7月 第3回研究開発及び生産流通部会)
沈降13価肺炎球菌 結合型ワクチン	沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV13)を高齢者の肺炎球菌感染症の定期接種として使用することの是非について議論され、PCV13の評価に必要な科学的知見をできるだけ早期に研究班等で収集した上で、実施する可能性のある施策について、費用対効果等の分析・評価を実施することとされた。 (平成27年12月 第2回ワクチン評価に関する小委員会)
ロタウイルス ワクチン	以下の3つの課題について、これまでに収集された科学的知見が報告され、広く接種を勧めていくための検討を進めていくためにはいくつかの課題が依然残っていることから、引き続き、研究班のデータや他の知見を収集した上で、一定の整理ができた段階で審議会に報告することとされた。 <ul style="list-style-type: none"> ・腸重積のベースラインデータの整理 ・リスクベネフィット分析 ・費用対効果の推計 (平成28年12月 第5回ワクチン評価に関する小委員会)
帯状疱疹 ワクチン	帯状疱疹の疾病負荷や帯状疱疹ワクチンの効果について議論が行われ、論点を整理した上で、課題とされたデータが出てきた段階で、再度検討することとされた。 (平成29年11月 第7回ワクチン評価に関する小委員会)
沈降精製百日せき ジフテリア破傷風 混合ワクチン	DTに代わりDTaPを用いることで見込まれるベネフィット・リスクについて議論が行われ、再度論点を整理した上で、議論可能となった段階で引き続き検討することとなった。 (平成29年11月 第7回ワクチン評価に関する小委員会)

平成28年4月から平成29年3月末までに厚生労働省へ報告があった長期療養特例の実施状況（1,352件）について取りまとめた結果は以下のとおり

疾病分離別報告数

分類	件数
膠原病	226
悪性新生物	220
慢性心疾患	194
神経・筋疾患	170
慢性呼吸器疾患	117
血液・免疫疾患	76
先天異常	70
慢性腎疾患	66
慢性消化器疾患	63
アレルギー疾患	57
先天性代謝異常	9
内分泌疾患	8
その他	76
計	1,352

ワクチン種類別報告数

分類	件数
M R	540
B C G	388
水痘	287
日本脳炎	67
DPT – IPV	50
高齢者肺炎球菌	47
IPV	44
Hib	32
小児用肺炎球菌	29
DT	26
DPT	2

※複数接種については重複計上

事 務 連 絡
平成 3 0 年 1 月 1 6 日

各都道府県衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課

乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの供給等について

乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン（以下「日本脳炎ワクチン」という。）については、平成 29 年 5 月 8 日付け厚生労働省健康局健康課事務連絡「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの安定供給に係る対応について」において、一般財団法人化学及血清療法研究所（以下「化血研」という。）が製造販売する日本脳炎ワクチンについて、一定期間、供給がなされない見込みであること、日本脳炎ワクチンの全国的な不足は生じない見込みであること等についてお知らせするとともに、日本脳炎ワクチンの安定供給のための取り組みについて、周知等の依頼を行ったところです。

昨日、化血研から『「平成 28 年熊本地震」による影響について（第九報 日本脳炎ワクチン）』が公表され、化血研製剤の出荷が再開される旨が示されました。

上記を踏まえた日本脳炎ワクチン全体に係る供給の見込みは、現時点において別添のとおりとなっております。

一方、定期接種の実施主体である各市区町村においては、予防接種法（昭和 23 年法律第 68 号）第 8 条等の規定に基づき、日本脳炎の定期接種の対象者又はその保護者に対し、予防接種を受けることの勧奨を適切に実施しているものと思料しますが、平成 29 年 6 月 22 日付け厚生労働省健康局健康課事務連絡「日本脳炎の予防接種実施状況調査について（依頼）」に基づき、各自治体から報告のあった日本脳炎の予防接種実施状況を暫定的に取りまとめたところ、昨年度の同時期と比較して、第 1 期の接種率が低下していることから、より一層の対応に努める必要があるものと考えられます。

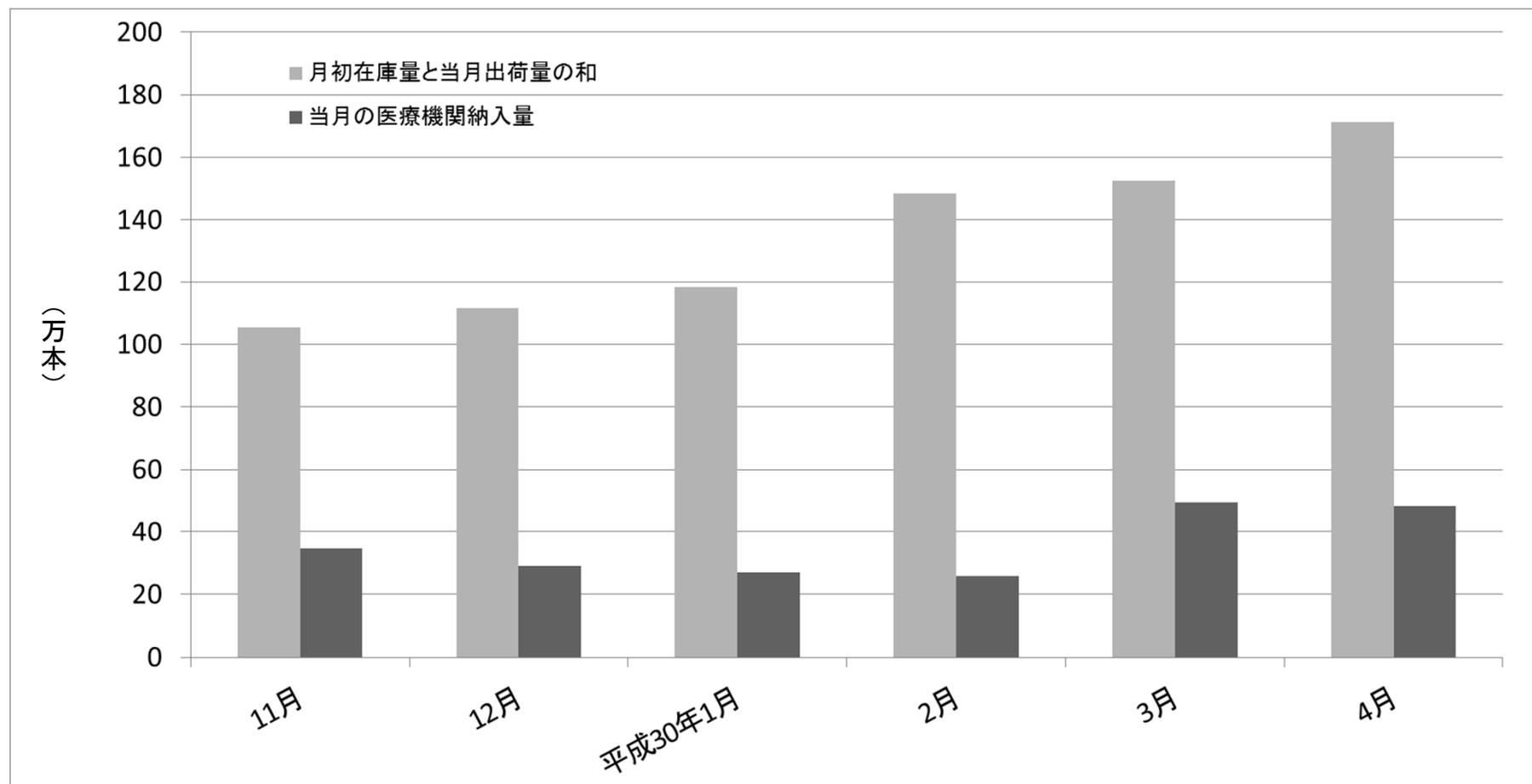
今般の化血研製剤の出荷再開及び日本脳炎ワクチン全体に係る供給の見込みを踏まえ、貴都道府県におかれては、貴管内市区町村及び関係機関等に対する周知等をお願いするとともに、今年度における日本脳炎の予防接種実施率向上に資するため、接種を希望する者が適切な時期に接種を受けられるよう、日本脳炎ワクチンの流通状況を把握した上で、十分な配慮をお願いします。

なお、第 1 期の接種対象者であって、本年度内に第 1 期の接種がなされなかった者については、来年度以降も、定期の予防接種の対象となる期間において、継続して十分な配慮を頂きますようお願いいたします。

(別添)

乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの需給実績及び見込み

(平成29年11月～平成30年4月)



(注)

- 上図は、現在流通している全社製品分を合算した状況であり、平成29年11月分は実績、その他の月分は見込みの状況を示す。
- 「月初在庫量」とは、当月初め(前月末)に、流通過程上に存在すると考えられる在庫量(出荷判定済の製品であって、まだ医療機関に納入されていない製品の在庫量)をいい、医療機関に納入済で未接種分の在庫(医療機関における在庫)は含まない。
- 「当月出荷量」とは、製造販売業者において当月中に新たに出荷判定がなされ、流通可能となる製品量をいう。

事 務 連 絡
平成 29 年 11 月 6 日

各都道府県衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課

季節性インフルエンザワクチンの定期的予防接種における接種時期等について

季節性インフルエンザワクチン（以下「ワクチン」という。）における 65 歳以上の者等に係る定期接種（B 類疾病）の実施につきましては、ご配慮いただきありがとうございます。

今冬のインフルエンザシーズンに係るワクチンの供給については、「季節性インフルエンザワクチンの供給について」（平成 29 年 9 月 15 日医政経発 0915 第 1 号、健健発 0915 第 2 号、健感発 0915 第 6 号厚生労働省医政局経済課長、健康局健康課長、健康局結核感染症課長連名通知。以下「通知」という。）において周知したところです。

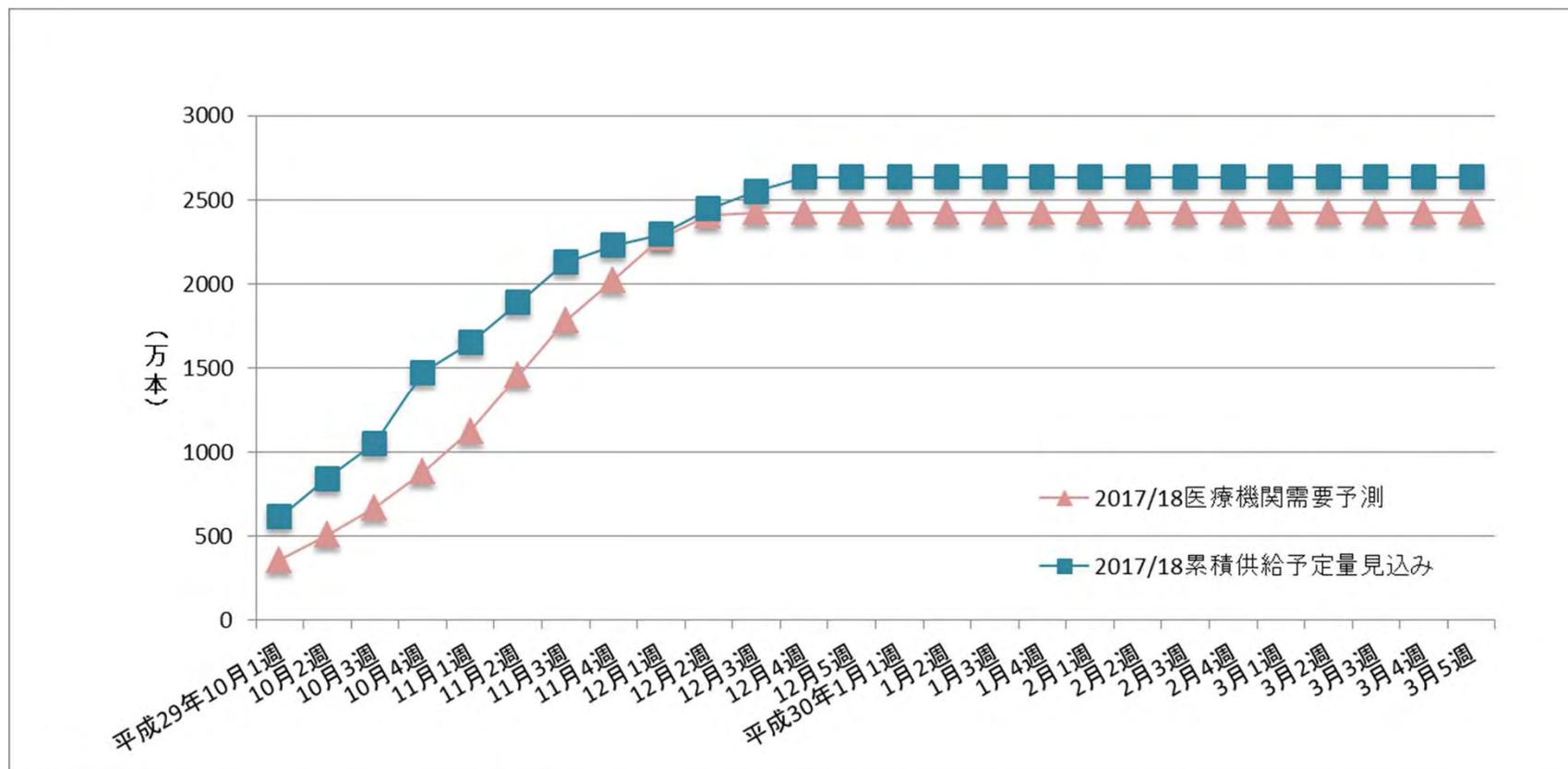
ワクチンが市場に供給される予定時期（製造販売業者からの出荷予定時期）については、通知別添 3 において、本年 7 月現在の状況をお示したところですが、本年 10 月現在の状況は別添のとおりとなっています。製造販売業者からのワクチンの出荷は、本年 12 月中旬頃まで継続する見込みであり、その場合、医療機関等へのワクチンの供給は、平成 30 年 1 月以降も継続する可能性があります。

貴部局におかれましては、医療機関等への供給状況を踏まえ、貴管内市区町村に対し、今年度における予防接種法に基づく定期接種の費用助成期間の延長について、すでに多くの市町村でご検討いただいていることとは思いますが、各医師会等と相談の上で平成 30 年 1 月以降についても費用助成期間とするよう依頼する等、定期接種によるワクチンの接種を希望される方が 1 月以降も適切に接種できるよう、十分な配慮をお願いします。

なお、今冬のインフルエンザシーズンのワクチンの供給予定量は、本年 10 月 31 日時点における見込みで約 2634 万本（1mL を 1 本に換算）となっており、7 月 31 日時点における見込みより約 107 万本増加しましたが、ワクチンを効率的に活用することが例年以上に重要な状況であることに変わりないことから、引き続き、通知に示した安定供給対策についてご協力いただきますようお願いいたします。

2017/18シーズンにおける 累積供給予定量見込み/医療機関需要予測

【平成29年10月現在】

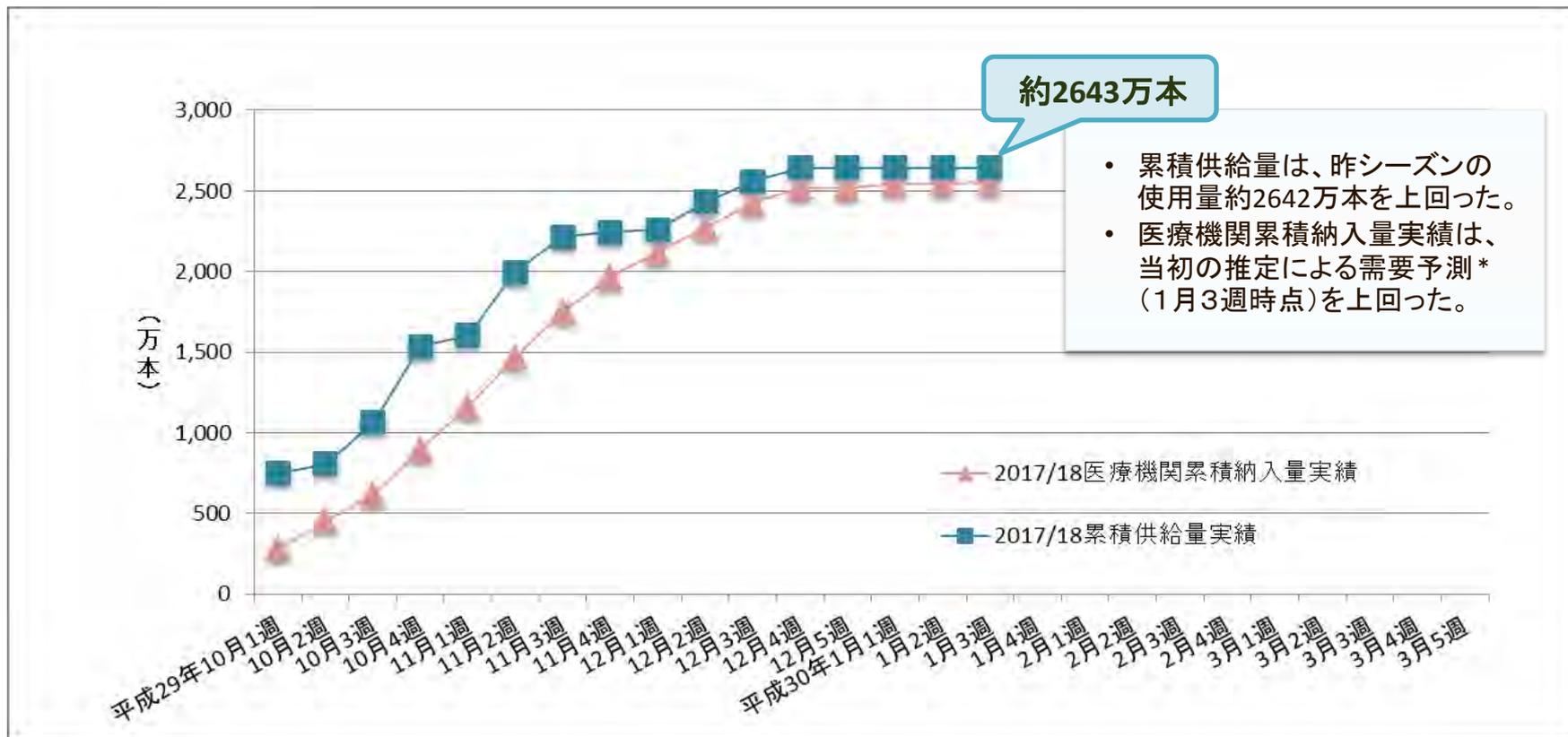


※ 1mLを1本に換算

※「2017/18医療機関需要予測」は、「2016/17医療機関累積納入量実績」に、13歳以上の者について、医師が特に必要と認める場合を除き「1回注射」であることを周知徹底した場合の影響、及び効率的な活用の徹底を考慮した推定値

2017/18シーズンにおける 累積供給量実績/医療機関累積納入量実績

【平成30年1月現在】



※ 1mLを1本に換算

※ 12月5週については、年末年始のため実績データの報告はないが、便宜上、12月4週と同一のデータを使用

* 「当初の推定による需要予測」は、「2016/17医療機関累積納入量実績」に、13歳以上の者について、医師が特に必要と認める場合を除き「1回注射」であることを周知徹底した場合の影響、及び効率的な活用の徹底を考慮した推定値

平成30年度予算案 1,720百万円(平成29年度予算額 1,634百万円)

基本的な考え方

「予防接種に関する基本的な計画」(平成26年4月告示)に基づき、より有効かつ安全な予防接種の推進を図るとともに、予防接種健康被害の救済や副反応に関する情報整理や調査を含め、着実な予防接種を実施する。

1. 健康被害救済給付費	1,264百万円(1,254百万円)
・予防接種事故救済給付費[負担金] 補助率2/3	1,175百万円
・新型インフルエンザ予防接種健康被害給付金	80百万円
・ポリオ生ワクチン2次感染者対策費[補助金] 補助率2/3	9百万円
2. 保健福祉相談事業[補助金]	129百万円(127百万円)
・保健福祉相談事業	123百万円
・研修事業	2百万円
・啓発普及事業	5百万円
3. 予防接種後副反応報告制度事業費	98百万円(98百万円)
・予防接種副反応報告整理・調査事業費[交付金]	60百万円
・予防接種副反応報告システム導入・運用経費	5百万円
・予防接種後副反応・健康状況調査事業費	25百万円
・予防接種副反応分析事業	9百万円
4. 予防接種従事者研修事業[委託費]	3百万円(3百万円)
5. 予防接種センター機能推進事業[補助金]補助率1/2	58百万円(37百万円)
※力所数	
・予防接種要注者への予防接種や医療従事者向け研修等の実施	22力所
・休日・時間外の予防接種実施	2力所
新規・ワクチン流通情報の収集	22力所
6. 予防接種に係る調査研究	
・厚生労働科学研究費等(※厚生科学課計上)	
・新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究費	1,968百万円の内数
・新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究経費	282百万円の内数
7. その他	167百万円(115百万円)
・厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会経費	8百万円
・疾病・障害認定審査会感染症・予防接種審査分科会経費	6百万円
・予防接種事故発生調査費[補助金]補助率2/3	2百万円
・予防接種対策推進費	7百万円
・予防接種に係る普及啓発経費	2百万円
新規・予防接種行政の評価のためのデータ収集経費[補助金]補助率 定額(10/10)	22百万円
新規・予防接種の有効性・安全性の効果測定に関するデータ収集等経費[補助金]補助率 定額(10/10)	33百万円
・感染症流行予測調査費(※結核感染症課計上)	80百万円

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 様
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成 29 年 12 月 26 日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: インフルエンザHAワクチン「S北研」

製品名: インフルエンザHAワクチン「化血研」

製品名: ビケンHA

製品名: インフルエンザHAワクチン「生研」

製品名: _____

現 職 独立行政法人国立病院機構本部総合研究センター長

氏 名 伊藤澄信

(宛 先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 健康局 健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 様
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。
(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 29 年 12 月 26 日

現 職 国立病院機構本部総合研究センター長

氏 名 伊藤澄信

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 御中
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成 29 年 12 月 25 日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現 職 国立感染症研究所感染症疫学センター長 _____

氏 名 大石 和徳 _____

(宛 先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 健康局 健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 御中
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。

(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 29 年 12 月 25 日

現 職 国立感染症研究所感染症疫学センター長

氏 名 大石 和徳

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当
(FAX番号:03-3502-3099)

宛印中

FAX回答表

平成~~29~~³⁰年 / 月 5日

申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現職

日本医師会 常任理事

氏名

金 範 敏

(宛先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省健康局健康課予防接種室
予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度	}	当該年度における受取額
<input type="checkbox"/> 平成27年度		<input type="checkbox"/> 50万円以下
<input type="checkbox"/> 平成28年度		<input type="checkbox"/> 50万円超～500万円以下
<input type="checkbox"/> 平成29年度		<input type="checkbox"/> 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料

特許権・特許使用料・商標権による報酬

講演料 原稿執筆料 当該企業の株式

その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度	}	当該年度における受取額
<input type="checkbox"/> 平成27年度		<input type="checkbox"/> 50万円以下
<input type="checkbox"/> 平成28年度		<input type="checkbox"/> 50万円超～500万円以下
<input type="checkbox"/> 平成29年度		<input type="checkbox"/> 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料

特許権・特許使用料・商標権による報酬

講演料 原稿執筆料 当該企業の株式

その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度	}	当該年度における受取額
<input type="checkbox"/> 平成27年度		<input type="checkbox"/> 50万円以下
<input type="checkbox"/> 平成28年度		<input type="checkbox"/> 50万円超～500万円以下
<input type="checkbox"/> 平成29年度		<input type="checkbox"/> 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料

特許権・特許使用料・商標権による報酬

講演料 原稿執筆料 当該企業の株式

その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度	}	当該年度における受取額
<input type="checkbox"/> 平成27年度		<input type="checkbox"/> 50万円以下
<input type="checkbox"/> 平成28年度		<input type="checkbox"/> 50万円超～500万円以下
<input type="checkbox"/> 平成29年度		<input type="checkbox"/> 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料

特許権・特許使用料・商標権による報酬

講演料 原稿執筆料 当該企業の株式

その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度	}	当該年度における受取額
<input type="checkbox"/> 平成27年度		<input type="checkbox"/> 50万円以下
<input type="checkbox"/> 平成28年度		<input type="checkbox"/> 50万円超～500万円以下
<input type="checkbox"/> 平成29年度		<input type="checkbox"/> 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料

特許権・特許使用料・商標権による報酬

講演料 原稿執筆料 当該企業の株式

その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度	}	当該年度における受取額
<input type="checkbox"/> 平成27年度		<input type="checkbox"/> 50万円以下
<input type="checkbox"/> 平成28年度		<input type="checkbox"/> 50万円超～500万円以下
<input type="checkbox"/> 平成29年度		<input type="checkbox"/> 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料

特許権・特許使用料・商標権による報酬

講演料 原稿執筆料 当該企業の株式

その他()

※上記11社以外で、審査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会において審査され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。

(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度	}	当該年度における受取額
<input type="checkbox"/> 平成27年度		<input type="checkbox"/> 50万円以下
<input type="checkbox"/> 平成28年度		<input type="checkbox"/> 50万円超～500万円以下
<input type="checkbox"/> 平成29年度		<input type="checkbox"/> 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料

特許権・特許使用料・商標権による報酬

講演料 原稿執筆料 当該企業の株式

その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度	}	当該年度における受取額
<input type="checkbox"/> 平成27年度		<input type="checkbox"/> 50万円以下
<input type="checkbox"/> 平成28年度		<input type="checkbox"/> 50万円超～500万円以下
<input type="checkbox"/> 平成29年度		<input type="checkbox"/> 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料

特許権・特許使用料・商標権による報酬

講演料 原稿執筆料 当該企業の株式

その他()

平成30年1月5日

現職 日本医師会 常任理事

氏名 金野 敏

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
 厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
 電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
 03(3595)3287 (夜間直通)
 FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当
(FAX番号:03-3502-3099)

御
宛

FAX回答表

平成 29 年 12 月 25 日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現職 国立感染症研究所 所長

氏名 倉根 一郎

(宛先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 健康局 健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

御中

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名:一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

- 平成27年度
- 平成28年度
- 平成29年度

当該年度における受取額

- 50万円以下
- 50万円超～500万円以下
- 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
- 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
- その他()

企業名:一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

- 平成27年度
- 平成28年度
- 平成29年度

当該年度における受取額

- 50万円以下
- 50万円超～500万円以下
- 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
- 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
- その他()

企業名:北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

- 平成27年度
- 平成28年度
- 平成29年度

当該年度における受取額

- 50万円以下
- 50万円超～500万円以下
- 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
- 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
- その他()

企業名:グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

- 平成27年度
- 平成28年度
- 平成29年度

当該年度における受取額

- 50万円以下
- 50万円超～500万円以下
- 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
- 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
- その他()

企業名:サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度

- 平成27年度
- 平成28年度
- 平成29年度

当該年度における受取額

- 50万円以下
- 50万円超～500万円以下
- 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
- 特許権・特許使用料・商標権による報酬
- 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
- その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度	}	当該年度における受取額
<input type="checkbox"/> 平成27年度		<input type="checkbox"/> 50万円以下
<input type="checkbox"/> 平成28年度		<input type="checkbox"/> 50万円超～500万円以下
<input type="checkbox"/> 平成29年度		<input type="checkbox"/> 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。

(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度	}	当該年度における受取額
<input type="checkbox"/> 平成27年度		<input type="checkbox"/> 50万円以下
<input type="checkbox"/> 平成28年度		<input type="checkbox"/> 50万円超～500万円以下
<input type="checkbox"/> 平成29年度		<input type="checkbox"/> 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度	}	当該年度における受取額
<input type="checkbox"/> 平成27年度		<input type="checkbox"/> 50万円以下
<input type="checkbox"/> 平成28年度		<input type="checkbox"/> 50万円超～500万円以下
<input type="checkbox"/> 平成29年度		<input type="checkbox"/> 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 29 年 12 月 25 日

現職 国立感染症研究所 所長

氏名 倉根 一郎

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
 厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
 電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
 03(3595)3287 (夜間直通)
 FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 宛
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成 29 年 12 月 25 日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現 職 川崎市健康福祉局医務監

氏 名 坂元 昇

(宛 先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 健康局 健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 宛
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。
(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 29 年 12 月 25 日

現 職 川崎市健康福祉局

氏 名 坂元 昇

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 宛
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成 30 年 1 月 12 日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現 職 読売新聞医療部 _____

氏 名 館林牧子 _____

(宛 先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 健康局 健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 宛
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。
(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 30 年 1 月 12 日

現 職 読売新聞医療部

氏 名 館林牧子

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 御中
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成 29 年 12 月 25 日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: クアトロバック皮下注シリンジ

製品名: テトラビック皮下注シリンジ

製品名: はしか風しん混合ワクチン「北里第一三共」

製品名: 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン「タケダ」

製品名: ミールビック

製品名: エンセバック皮下注用

製品名: ジェービックV

製品名: インフルエンザHAワクチン「生研」

製品名: Flu-シリンジ「生研」

製品名: アクヒブ

製品名: プレベナー13水性懸濁皮下注

製品名: ヴァクセムヒブ水性懸濁注

製品名: 沈降細胞培養インフルエンザワクチンH5N1筋注30 μ g/ml「北里第一三共」

製品名: 沈降インフルエンザワクチンH5N1「ビケン」

製品名: 沈降インフルエンザワクチンH5N1「生研」1ml
製品名: 沈降インフルエンザワクチンH5N1「生研」10ml

製品名: 沈降インフルエンザワクチンH5N1「北里第一三共」

現 職 川崎医科大学 小児科学 教授

氏 名 中野 貴司

(宛 先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室
予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 御中
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 (27年度・28年度同額) } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
 平成27年度
 平成28年度
 平成29年度

当該年度における受取額
 50万円以下
 50万円超～500万円以下
 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
 平成27年度
 平成28年度 (27年度・28年度同額)
 平成29年度

当該年度における受取額
 50万円以下
 50万円超～500万円以下
 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
 平成27年度
 平成28年度
 平成29年度

当該年度における受取額
 50万円以下
 50万円超～500万円以下
 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
 平成27年度
 平成28年度
 平成29年度

当該年度における受取額
 50万円以下
 50万円超～500万円以下
 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
 平成27年度
 平成28年度
 平成29年度

当該年度における受取額
 50万円以下
 50万円超～500万円以下
 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
 平成27年度
 平成28年度
 平成29年度

当該年度における受取額
 50万円以下
 50万円超～500万円以下
 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。

(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: 田辺三菱製薬株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
 平成27年度
 平成28年度
 平成29年度

当該年度における受取額
 50万円以下
 50万円超～500万円以下
 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 第一三共株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度
 平成27年度
 平成28年度
 平成29年度

当該年度における受取額
 50万円以下
 50万円超～500万円以下
 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 29 年 12 月 25 日

現 職 川崎医科大学 小児科学 教授

氏 名 中野 貴司

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 宛 御中
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成³⁰年 1 月 11 日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現職 年 復工 _____

氏名 中山 ひとみ _____

(宛先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 健康局 健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 宛 御中
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・
契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会 ご担当者様
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成 29 年 12 月 27 日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現 職 東洋大学国際学部教授

氏 名 沼尾 波子

(宛 先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 健康局 健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会 ご担当者 様
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名:一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名:一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名:北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名:グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名:サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において
審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取
がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、
アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。

(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 29 年 12 月 27 日

現 職 東洋大学国際学部教授

氏 名 沼尾 波子

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 宛
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成 30 年 1 月 4 日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現 職 大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学・教授

氏 名 福島 若葉

(宛 先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 健康局 健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名：一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無： 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名：一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無： 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他(定期刊行物監修料)

企業名：北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無： 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名：グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無： 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名：サノフィ株式会社 →受取の有無： 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。
(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: 田辺三菱製薬株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 第一三共株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 30 年 1 月 4 日

現 職 大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学・教授

氏 名 福島 若葉

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 宛
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成30年1月5日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現職 公益財団法人ライフ・エクステンション研究所附属永寿総合病院小児科主任部長

氏名 三田村 敬子

(宛先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省健康局健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 御中
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。
(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: 田辺三菱製薬株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 30 年 1 月 5 日

現 職 公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院 小児科主任部長

氏 名 三田村 敬子

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 宛
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成30年1月10日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現職 _____ 両毛整肢療護園

氏名 _____ 桃井眞里子

(宛先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省健康局健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 宛
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。

(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 30 年 1 月 10 日

現 職 両毛整肢療護園

氏 名 桃井眞里子

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会ご担当者様
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成 29 年 12 月 25 日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現 職 神戸大学大学院医学研究科臨床ウイルス学分野・教授

氏 名 森 康子

(宛 先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 健康局 健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会ご担当者様
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。
(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: 国立研究開発法人理化学研究 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 29 年 12 月 25 日

現 職 神戸大学大学院医学研究科臨床ウイルス学分野・教授

氏 名 森 康子

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 宛
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成 30 年 1 月 5日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現 職 青森県中南地域県民局地域健康福祉部長

氏 名 山中朋子

(宛 先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 健康局 健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 宛
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。

(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 30 年 1 月 5 日

現 職 青森県中南部地域県民局地域健康福祉部長

氏 名 山中朋子

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当者 様
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成 29 年 12 月 26 日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現 職 岩手県軽米町長 _____

氏 名 山本 賢一 _____

(宛 先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 健康局 健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当者 様
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーンジー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。
(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 29 年 12 月 26 日

現 職 岩手県軽米町長

氏 名 山本 賢一

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078, 2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)

(記入様式(資料作成関与者))

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 殿
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成 29 年 12 月 25 日
申請資料等の作成への関与について、以下のとおり回答する。

- 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当しない
 申請資料等の作成に密接に関与した者に該当する(以下に関与した製品名を記入)

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

製品名: _____

現 職 SSPE青空の会相談役 _____

氏 名 畑 秀二 _____

(宛 先)

〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省 健康局 健康課予防接種室

予防接種・ワクチン分科会担当

電話 03(5253)1111 (内線2078)

03(3595)3287 (夜間直通)

FAX 03(3502)3099 (健康局健康課FAX)

厚生労働省健康局健康課予防接種・ワクチン分科会担当 殿
(FAX番号:03-3502-3099)

FAX回答表

平成27年度から平成29年度までの3か年度において、企業ごとに、最も寄附金・契約金等(割当て)を多く受け取った年度及びその額について、以下のとおり回答する。

企業名: 一般財団法人化学及血清療法研究所 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 一般財団法人阪大微生物病研究会 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 北里第一三共ワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: グラクソ・スミスクライン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: サノフィ株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超~500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 武田薬品工業株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: デンカ生研株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: 日本ビーシー製造株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ファイザー株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: MSD株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】

- 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: ジャパンワクチン株式会社 →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

※上記11社以外で、調査審議されるワクチンと同じ効能・効果を有する製品が薬事分科会等において審議され又は市場に流通される前にあり、当該製品を開発している企業から寄附金・契約金等の受取がある場合は、以下に記入してください(例:UMNファーマ、アストラゼネカ、田辺三菱製薬、第一三共、アステラス製薬、全国ワクチン、北里薬品産業等)。
(受取がない場合でも「現職」及び「氏名」の欄は必ず記入してください。)

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

企業名: _____ →受取の有無: 有り 無し

受取有りの場合、最も多い寄附金・契約金等を受け取った年度 } 当該年度における受取額
 平成27年度 } 50万円以下
 平成28年度 } 50万円超～500万円以下
 平成29年度 } 500万円超

【受取額の内訳】
 寄附金(奨学寄付金含む) 研究契約金 コンサルタント料・指導料
 特許権・特許使用料・商標権による報酬
 講演料 原稿執筆料 当該企業の株式
 その他()

平成 29 年 12 月 25 日

現 職 SSPE青空の会 相談役

氏 名 畑 秀二

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 健康局 健康課予防接種室 予防接種・ワクチン分科会担当
電話 03(5253)1111 (内線2078、2383)
03(3595)3287 (夜間直通)
FAX 03(3502)3099 (健康課FAX)